

す研究プロジェクトの一環として行われる形成調査の一部である。形成調査は、質的調査と量的調査の2段階からなるミクストメソッドで行われるが、本研究はその第一段階の質的調査である。研究は、25 の大学を有し大学生人口が全国でも高いレベルにある京都市で実施する。

2. 目的

クラブ利用頻度の高い女子大学生の HIV を含む性感染症に関する知識・意識・行動の実態、心理社会的背景を明らかにし、予防介入プログラム開発に役立つ情報を獲得することを目的とする。

なお、本研究で言及する「クラブ」とは、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の3号営業形態をとっており、深夜まで営業する飲食店で DJ(ディスクジョッキー)が流す音楽に合わせて多数の客が集まり、踊りを楽しむイベントが行われる場所」と定義する

3. 方法

3.1. 研究デザイン

本研究は、横断的質的調査研究である。データ収集には、①個別インタビュー(In-depth Interview)と、②フォーカスグループインタビュー(Focus group Interview、以下 FGI)を用いた。得られたデータのテーマ分析を行い、理論生成を行う。

3.2 対象者

クラブを頻繁に利用する女子大学生、また彼女たちの様子や行動を語ることが可能なクラブの従業員や音楽関係者。包含基準は表1の通り。

表1. 包含基準

- | |
|---|
| 1 18歳以上であること |
| 2 頻繁にクラブを利用すると自認する人
または、周囲から認識されている人 |
| 3 京都に居住、または通勤、通学している人 |

3.3 対象者の選択

対象者の選択には、対象集団に対するアプローチの困難さから、スノーボールサンプリング法を採用した。クラブに頻繁に通う人を知っている研究者(岩村)の知人 5 人を基点とし、各1~2人の対象者の紹介を依頼し、その後は、最初のインタビュー参加者の、友人などを次々に紹介してもらった形をとった。また、出来る限り多様性のある対象者を収集するため、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を利用するサンプリング方法も使用した。具体的には、「京都のクラブ」に関連するコミュニティ(サイト内情報共有ページ)の参加者に、メールで連絡し了解が得られれば、インタビュー参加を依頼する方法をとった。

3.4 検討項目の測定

3.4.1 測定内容

質問内容/方法については、事前に、同様の対象集団に属する若者に質問内容、文言、尋ね方について確認し質問内容/方法を決定した。質問に際しては、参加者の話し易さやプライバシー保護を考慮し、参加者本人の個人的な情報を聞くというより、自身を含めた周囲の様子などについての情報を収集する方法をとった。質問項目(表2参照)に沿って、半構造化面接を実施した。また、継続比較分析により、インタビューを進める中で、必要だと思う事項は随時追加して、質問項目に含める方法を採用した(理論的データサンプリング¹⁵⁾。

表2. 質問項目

- | |
|---------------|
| ・ クラブの利用実態 |
| ・ 性感染症関連知識 |
| ・ 性行動、性に関する態度 |
| ・ リスク認知 |
| ・ 交際/性関係 |
| ・ 意識行動に影響するもの |
| ・ 余暇の過ごし方 |
| ・ 予防に関する事項 |

3.4.2 実施方法

インタビューは、研究者(岩村)1人と、対象者1~3人で行った。インタビューフローに沿って、40 分から1時間程のインタビューを行なった。紹介のあった参加者には、メールでインタビューの詳細を連絡し、参加の意思

を確認した。参加可であれば、インタビューの場を決めた。参加者から希望の場所を聞き、なければ、市内の会議室を借りて行なった。参加者には、謝礼として1000円分のQUOカードを渡した。

4. 解析の概要

インタビューから得られた逐語録を用いて、テーマ分析を行なった。分析手順の具体的内容は以下の通りである。

- ① インタビューから得られた音声データを逐語録化したデータと、非言語データの読み込み
- ② オープン・コーディング。データの中から、出来事、行為、相互作用、考え、行動などについて、キーワードをマーカー等で印をつけ、類似のデータに同じコード名をつける。
- ③ コードを利用して関係するものをカテゴリー化する。
- ④ カテゴリーに名前をつける。
- ⑤ カテゴリー間の関係性を分析し、理論生成を行う。

分析は主に研究者1人(岩村)で行なったが、分析の客観性を高めるため同じデータを主分析者以外にも修士学生2名によるオープン・コーディング作業を実施した(研究者トライアングレーション¹⁶⁾)。分析プロセスでは、スーパーバイザーの意見も参考にしながら、抽出したカテゴリーを検討した。また、本研究では、分析とインタビューは平行して行う、継続比較分析を採用した。

本研究では、女子大学生が対象であり、男性から得られたデータは、女性の行動やそれに影響すると思われる内容について分析対象とした。

5. 倫理的配慮

本研究は、京都大学医の倫理委員会における承認を得た。(承認第952号 平成23年8月3日)

また、インタビューの際には、インタビュー調査の目的、自由参加であること、途中中断が可能な事、秘密保持、データの取り扱い、個人情報の取り扱いなど、説明文書を用いて説明し、同意書に署名をもらった。

6. 研究結果

6.1. 研究対象者

2011年8月～12月に調査を実施した。個別インタビュー参加者は合計10名で、その内訳は、女性が7名、男性が3名である。女性のうち2回生は4名、4回生が3名、男性は2回生でクラブのDJが1名、元クラブ従業員1名、音楽関係者1名であった(表3)。FGIは1回実施した。参加者は3名で、全員女性で大学4回生であった。最終的なインタビュー参加者は合計で13名であった。研究計画時は、理論的飽和を目標に30名程度の参加者を予定して、クラブ利用者の知人ネットワークを利用したスノーボールサンプリング法を計画したが、実際に研究を始めてみると、クラブ利用者同士ではその場限りの

表3. 参加者の属性

コード	属性	インタビュー形式
W1	大学4回	個人
W2	大学4回	個人
W3	大学2回	個人
W4	大学4回	個人
W5	大学4回	個人
W6	大学4回	個人
W7	大学2回	個人
W8	大学4回	グループ
W9	大学4回	グループ
W10	大学4回	グループ
M1	元クラブ従業員	個人
M2	大学2回	個人
M3	音楽関係者(DJ)	個人

の希薄な人間関係しか形成されておらず(後述)、何人もの利用者に依頼したが、対象者を紹介してもらうことができず、対象者のリクルートは極めて困難であった。また、参加に同意し、双方の合意の下インタビュー実施日を設定したにもかかわらず、突然連絡が途絶えるケースも複数例あり、最終的に十分な対象者のリクルートができなかった。したがって、本研究は理論的飽和には至っていない段階での限定的な報告となった。

6.2. 結果の概要

【クラブという場所をどう思っているか】、【性行動・予防行動・受診行動】、【性感染症の知識・認識・情報源】とい

う3つの分析テーマを立て、分析を行った。27 の概念と8 のカテゴリーが抽出された。(表4)

6.3. 各概念の説明

以下では、抽出された概念コードについてカテゴリー別に論じる。3 つの分析テーマに沿って、概念生成の根拠になった語りのヴァリエーション(但し複数例の中の代表例のみ提示:アルファベットは性別、番号は対象者の個別番号を表す)も紹介しつつ、結果を示す。抽出された概念には下線を付けた。

表4 生成された概念コードとカテゴリー

No	概念コード	カテゴリー
分析テーマ1:「クラブ」という場所をどう思っているか		
1	知らない人に話しかけることに抵抗感の少ない場	①【リアルな“出会い系”空間としてのクラブ】
2	クラブが出会いの場であることへの容認的態度	
3	不特定の相手と性関係に発展しやすい場	
4	クラブイベントの内容による“出会い系”空間としての重みの差	
5	音楽関係者や有名人との出会いへの期待	
6	無防備な性関係に発展しやすいクラブ初心者	
7	純粋に音楽や踊りを楽しむ場	②【“出会い”以外のクラブ利用】
8	気分転換できる場所としてのクラブ	
9	出会いを目的に利用されることへの不快感	
分析テーマ2: 性行動・予防行動・受診行動		
10	不特定多数の相手との性関係	③【交際関係のない相手との性関係の存在】
11	大学生になってからの性行動の活発化	
12	大学以前からの性風俗の利用(男性)	
13	カジュアルな性関係に対する容認的態度	
14	避妊のみを目的としたコンドームの使用	④【エイズ/性感染症の不完全予防行動】
15	コンドーム利用の不徹底さ	
16	検査に行ったことがない	⑤【エイズ/性感染症検査への消極的態度】
17	検査に対する恐怖感	
18	検査に関する情報不足	
分析テーマ3:性感染症の知識・認識・情報源		
19	関心もなく知識もない	⑥【知識の不十分さ】
20	エイズに対する恐怖感	
21	性感染症罹患に対する羞恥心	
22	知識の自信のなさ	
23	現実感の希薄さによる人事(ひとごと)意識	⑦【リスク認知の低さ】
24	罹患しても治療すればいいという性感染症への軽視	
25	支援時や相談したり助けを求めたりする心を許す友人	⑧【情報/支援源:周辺環境】
26	友人からの情報	
27	テレビやソーシャルメディアから受ける情報への信頼	

6.4 分析テーマ1: クラブという場の認識

6.4.1. 【リアルな“出会い系”空間としてのクラブ】

・「クラブ」という場所では、それを頻繁に利用する者にとって、“出会い”が簡単に出来る場であるという認識が示された。クラブの空間的特徴としては、まず、知らない人に話しかけることに抵抗感の少ない場、また、不特定の相手との性関係に発展しやすい場であると語られた。実際にクラブで声をかけられるという経験を発言したのは、女子大学生のうち10名中7名であった。性関係に発展した経験を、自分の経験として語ったのは、1名だったが、直接の友人や、友達の友達といった、聞いたことのある話として発言していた。

『女性専用シートっていうのがあって、女性のみがすわれるシートにそこに男性がはいってお酒をおごる。っていう風になっているんで、クラブもまあ、出会いの為に作り上げられているのもあるんで、』(W1)

『(クラブで結構男女があって、そのあと、夜過ごす、みたいな話も聞いたことあるけど、そういうのって見たことある?) M:あ、なんか、友達。そういうのあった。まあ、何回か見たことあります。』(M2)

・空間的特徴を支持する意見として、クラブが出会いの場であることへの容認的態度がある。

『(…ナンパ待ちで行ってる子とか、そういった子をどう思いますか?) W:あ、いいと思います。クラブってそういう場所であるべきなのは、前提やとは。思いますね。』(W2)

・一方、全てのクラブが“出会い”目的の空間という訳ではなく、さらにあるクラブが常に“出会い”目的なクラブというわけではなく、クラブイベントの内容による“出会い系”空間としての重みの差があり、クラブで実施されるイベントの種類によって、“出会い”を目的にする客層かそうでないか変化するということがあった。

『オールジャンルとか、誰でも楽しめるよね、みたいので、出会いの場を提供しているようなイメージ。』(W5)

・また、クラブでは、音楽関係者や有名人との出会いが期待され、実際に会おうと無防備な性行動に発展することもあるようである。

『ずっと憧れてた人に誘われたら行っちゃうとか。クラブとかであればそんなかんじですね。DJの人に呼ばれて、どっか行って、しちゃうとかあるみたいですね。』(W2)

・無防備な性関係に発展しやすいクラブ初心者:無防備な性関係に入りやすい層としては、飲酒、雰囲気にならされてしまう、そして、クラブに対して初心者であることがあげられた。「若い頃は、話しかけられることが楽しかった」「わくわく感」などがあつたとの発言があつた。ナンパ等が行なわれる空間に対して、非日常性を楽しんでいることがうかがえる。

『(知らない人と関係を持つというのがあつたか) W:そういうのは、ありましたね。やっぱ若いときは、自分もあつたあつた。たくさんとは言わないけど。…W:だし、友達でもいるし。そのために、クラブに行つてたとかもたぶん、きっとあるとおもう。』(W2)

6.4.2. 【“出会い”以外のクラブ利用】

・一方で、出会いを目的としない空間認識として、純粋に音楽や踊りを楽しむ場、気分転換できる場としてのクラブをあげる者もいた。一般的には出会いの場として認識しているが、そうでない意識を持っている者も存在した。また、3名の参加者からは、クラブでの出会いに対する不快感があげられていた。

『むちゃくちゃ騒ぎたいときとかですね。あの、普通にまあ、ストレス発散になるんですよ。正直、お酒のんで、あんだけ爆音聞いて踊れば。』(W1)

6.5. 分析テーマ2: 性行動・予防行動・受診行動

6.5.1. 【交際関係のない相手との性関係の存在】

・大学生の無防備な性行動について語られた。交際関係にない、愛情などの精神的なつながりのない性関係を持つ、所謂「セフレ」という関係や、またクラブなどで初対面の人と性行為に至るなど、不特定多数との相手との性関係の存在が示された。実際そのような経験のない人でも、ネットワークの中にいることが示唆される。クラブだけでそういうことが起きているとは限らないが、少なくともクラブに通っている人達にはそういう経験があると

ということが示唆される。

『なんか、その子は、ナンパされて、ナンパされた人ともやって、ナンパされた人のその友だちともやって、みたいな。かんで……最近付き合ってたけど、別れて。その、別れた理由が、そういう人、多いから、みたいな。セフレが多いから、ていう。』(W3)

・大学生になってからの性行為が活発化し、交際関係に至る以前から性関係を持つケースもある。また、参加者の友人の中には、性風俗の利用(男性)もいることが指摘されていた。

『大学生になってからは、たぶん、急激に早くなった……それこそ、もう一週間とか？付き合う前とか。あると思います。』(M2)

『(風俗に通う子はいるのか?)えー、たぶん結構いると思いますね。運動部とか入っている子は。先輩とかに連れて行ってもらったり。』

・カジュアルな性関係に対する容認的態度があることも発言から示された。中には、否定的な態度を示す意見も聞けた一方、お互いが納得した関係なら、いいと思うという価値観があることが示された。こういった価値観の背景が、不特定多数との性関係を引き起こしていると考えられることも可能である。また、このような性関係への容認的態度は友人ネットワークにおいてお互い不干渉な部分であるという友人関係も示唆できる。

『自分のことは、自分で守れて思うんで、それで、別にしてしまったからって、何で、そんなんしたん、とかは思わないですね。その子がいいと思ってたなら、いい。』(W5)

『W:別に、なんか、あたしは、そういうことに対して、あかんで、とか引いたりとかしないんで。聞いても、へー、みたいな。そういう人がいても良いんちゃう？みたいな。お互いが良かったらいいし。で、そういうなんで、病気になるってとか、そういうのだけが気つけやって、言ってるんで。』(W7)

6.5.2. 【エイズ／性感染症の不完全予防行動】

・予防行動について、コンドーム利用についての状況を尋ねた。まず、コンドーム使用の不徹底が指摘された。さらに、避妊のみを目的としたコンドームの使用という意識が強く、感染症予防として意識の低さが示された。

『目的は避妊することやおもうんで。(病気の予防って意識は?)病気の予防……そっか。それはあんまり考えたことなかったです。』

『W3:ない子はないですね。W1:男の子も女の子も。つけない子はつけないです。

W2:男の子は、結構、そういやって、自分が言われて、女の子が身ごもっちゃったとか、何かしら過去がないと、自分から頑張るって、つけようとは、してくれないな、っておもう。っていう話を前してた。だから、女の子がしっかり言わないと、だめなんやろうな。』(G1)

6.5.3. 【エイズ／性感染症検査への消極的態度】

・検査行動について、検査に行かなかったという参加者がほとんどであった。検査に対する恐怖心と情報不足が、その背景としてあげられた。

『S:うーん、どうなんだろう。まああのその検査しないことが、あかんな、と思います。自分のアメリカ人とかフランス人とかの友達も、もっと普通に、そやな行こうっていえる。日本人だと、「え、え、え、え、なんで、そんな。」みたいな、ことが多いですね。』(M1)

『W1:怖いよね、なんか。W2:怖いわー。受けに行くには、勇気いるな。(一人では行き難いって感じますか?)W3:絶対行けないです。W1:怖い怖い。』(G1)

『(保健所で、ただで受けられるっていうの?)W:それはしらない、HIVですか?(エイズも性感染症も受けられる。)W:あ、そうなんですか、それは知らなかったです。』

6.6 分析テーマ3:性感染症の知識・認識・情報源

6.6.1.【知識の不十分さ】

- ・性感染症／エイズに関しては、関心もなく知識もないと思われる発言が聞けた。

『(HIVのイメージは?)W:うーん、なんやろうな。うーんうーんうーん。わからない。

…(エイズの感染経路は知る?)W:あんまり。』

- ・参加者の発言から、性感染症等に関連する知識に自信のないことが示唆された。学校などでの性教育の有無については、高校時代に習ったが、覚えてないという発言もあった。

『W:エイズって、免疫の、あれですよ。あ、なんか、免疫が…、何に対する免疫かっていうのは、私もちょっと、わかんないんですけど、免疫が弱くなるとか作れなくなるとかで、そういうのが入ってきたときに戦えへんくなる。そういうことですよ、たぶん?…そういうぼやっとしたことしか知らないんですけど。』

- ・また、漠然としたエイズに対する曖昧な印象から受ける、エイズに対する恐怖感があることが示唆された。

『(どういうイメージか。)直感的にゆうたら、怖い。っていう。ただ、自分と密接に関係しているものではないかなーっていう。ちょっと、安易な、感じでおもったりもしますね。(怖いというの?)完全に治らないじゃないですか?治らないですよ?』

- ・性感染症に対する羞恥心を示す意見も聞けた。この感情が、消極的な検査行動や周囲の友人やパートナーへの相談などを阻害する原因となっていることが考えられる。

『えっと、なってるとは思わないし、あとは、そういうところはやっぱり、日本的な考えですけど、ちょっと恥しいほうなのかなって、思う感じで、恥ずかしいなって思ったりすんで、行ったりするのがですね、その場所に。』

6.6.2.【リスク認知の低さ】

- ・性感染症に対する感染リスク認知に関しては、現実感の希薄さによる、他人事意識がうかがえた。参加者の中には、HIV 検査受検経験のある者は少なく、「自分の周りでは流行っていない、友達が感染していても、自分は、感染するはずがない」、という意識であった。性感染症に関する認識についても、罹患しても治療すればいいと軽視していることが示された。無症状であることを知らないため、症状が出たら検査に行けばいいという考えを持っている可能性がうかがわれた。

『(身近に感じるようなこと?)身近はないです。友達とかは、なったとは言っていましたけど。(流行っていると思うか)いや、そんな思わないです。わたしは、なった子とかはいましたけど。』

『性病なら、周りになった子とか、いっぱいいるから、まあ、ちょちよいつて治るやろ、って感じあるけど、エイズはなんか、もう一生この世の終わりって思っちゃうとおもいます。』(W5)

6.6.3.【情報/支援源:周辺環境】

- ・参加者の語りより、支援や相談が必要なときの心を許せる友人の役割が示された。検査への同伴や、相談により安心が得られる存在として、専門家ではないが友人の役割があげられていた。同様に性感染症やエイズの情報についても友人との情報交換から得られるとの指摘があった。

『影響は、なんやろ。人によって違うとおもうんですけど、でも、やっぱり周りの人とかじゃないですか。やっぱり。友だちとかから、性感染症とかエイズのことを周りの人が言ったら、それを本人も気をつけるのかなーと(結構ともだちの影響とか?)受けやすいとおもうんで。』(W7)

- ・テレビ、雑誌、インターネットなどのメディアからの情報に影響を受けていることも示唆された。

『たぶん、エイズで言ったら、ドラマで、「神様もうすこしだけ」って、あれで。あれで、「おお」って思いました。あれ、エイズやったと思います。あと、テレビが多いかな。ドキュメンタリーとか。友だちから聞く話おおいで

すけど。』

以上をまとめると、クラブとは、それを利用する大学生にとって、“出会い”の場という認識であり、それに不快

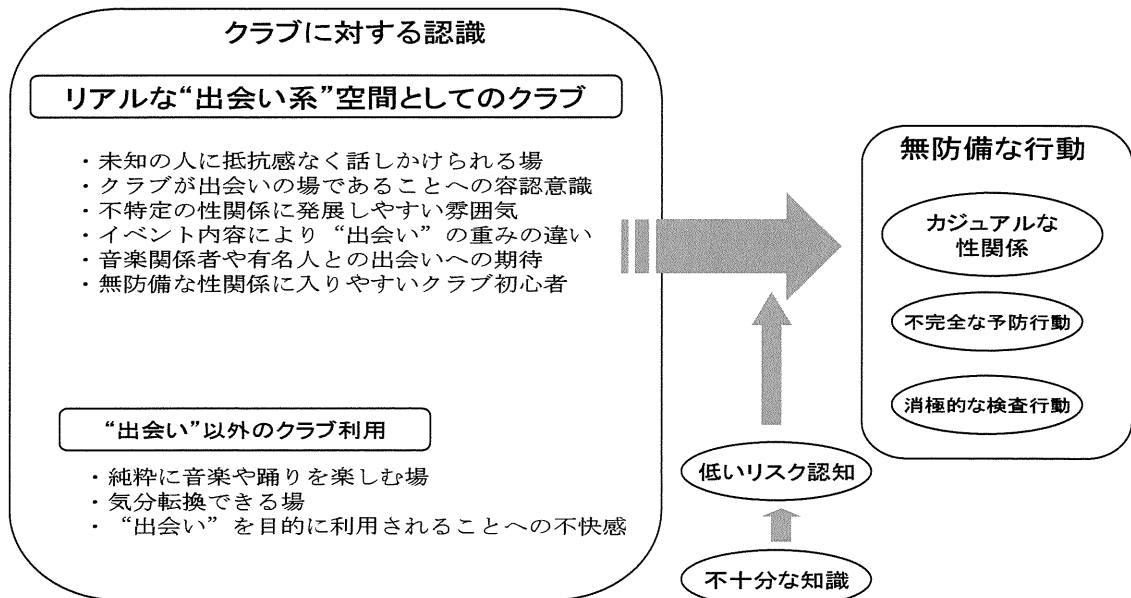


図 クラブを頻繁に利用する大学生のクラブに対する認識と無防備な性行動

感をもつ者もいるが、容認的態度が多かった。中には、客同士、または音楽関係者と一夜限りの性関係を持つものもいる。クラブ初心者の頃はそういった非日常的な空間で、リスクのある行動に陥ることもある。無防備な性行動がとられているが、その背景として、知識やリスク認知の低さが考えられる示唆された。(図)

7. 考察

本研究は、質的研究であり、その特性上、結果の一般化はできない。また今回、当初の予想に反して研究参加者が集められずサンプル数も限られているため、極めて限界のある中での報告であるが、本研究で得られたインタビューデータからいくつかのことが示唆された。

7.1. クラブという場

本研究から、クラブという場では、“出会い”が当たり前のこととして容認されている場であること、また、実際に不特定多数との性関係のきっかけとしての“出会い”が構築される場所である可能性が示唆された。音楽やお酒の影響もあり、開放的な雰囲気の中、無防備な不特定の人との性関係に発展する可能性がある。出会い目的にクラブが利用されることに不快感を抱く意見があることから、クラブ利用者のすべてが無防備な性行動をとるわけではないということも同時に示唆されている。また、クラブ空間において、よりリスク行動が懸念される対象としては、クラブ初心者であることと、音楽関係者などの有名人との性関係を含む関係への期待、があげられた。

Reingle ら¹⁷による研究でも、米国の大学生のバー、クラブ利用の動機として、「飲酒」、「友達との交流」、「性的関係や交際関係の相手への期待」、「気晴らし」があげられており、文化の違いはあるが、本研究で得られたデータとの類似性が見られた。Miguel らの米国におけるクラブでの研究¹⁸では、Hip-Hop クラブについて質的インタビュー調査がなされており、クラブでの性関係への発展について、ダンスで密接になり、性関係を持つことがプロセスとして確認されている。また、Griffin ら¹⁹の研究では、飲酒とリスク行動について負の相関が示唆されている。本研究の対象集団においても、飲酒や雰囲気から同様なリスク行動の存在が予測される。そのため、

無防備な性行動に至るプロセスや行動様式について深め、現状を定量的に確認していくこと、またリスク行動の変容につながるための、対象集団についての把握が今後の課題である。

また、クラブにおける人間関係については、当初はかなり密な関係な友人ネットワークの存在を想定していたが、本研究を行なったところ、かなり薄い、またはお互いに干渉の少ないネットワークなのではないかということが示唆された。広く深いネットワークがあるのではないかということを想定して、スノーボールサンプリングによる対象者のリクルートを計画したが、インタビューの内容もあると考えられるが、ネットワークを利用した知人の紹介が上手くいかなかった。また、性関係への容認的な態度から、友人がクラブ等で知らない人と関係を持つとしても止めることないといった発言がでた。このようなことから、既存のネットワークを用いた予防対策の限界が考えられる。

7.2. リスク認知と知識について

リスク認知については、クラブというある程度性感染症リスクが高いことが懸念される集団においてでさえ、性感染症罹患について他人事意識や軽視的な発言があった。大学生を対象にした他の研究²⁰と同様の結果であった。この背景には、エイズや性感染症の知識不足やリスク認知が不十分であることが考えられる。知識については、高校の授業で触れられてはいるが、自分のこととして認識されていないためほとんど印象に残っておらず、結局テレビやマンガなどから得る断片的な情報しか持っていない。また、妊娠や性感染症感染予防のための情報だけではなく、感染した時や意図しない妊娠時の対応の方法なども必要であると考えられる。

また、友達や周囲で良く性感染症に罹患したというケースを頻繁に聞く機会があるにも関わらず、リスク認知が不十分であることから、対象集団がリスク認知し、予防行動に移すための支援のあり方が今後考えられる必要がある。

8. 研究の限界

本研究はインタビューで得られたデータの質的分析研究であるため、データ収集、分析結果の一般化には限界がある。今回得られた参加者は、友人のネットワークを利用したサンプリングであって、似たサンプルが集まっていることが考えられているため、母集団への一般化はできない。また、周囲についての質問を中心にしたため、間接的な情報が多く、信憑性に限界がある。

研究の手法においても、インタビューの実施や分析は、研究者の能力・経験に強く依存してしまう。そのため、質的研究者やその経験のある人、また、対象集団に属する人から随時助言を参考にしながら、インタビューの方法や、分析の視点など、多角的に行うようにしたが、質的研究初心者としての限界があった。

また、インタビュー内容が、性的な質問もあり答え難い内容であることから、本当に危険な行動をとっている対象者は、インタビューに参加していない、あるいはインタビューで語っていないことも考えられる。

9. 結論

本研究からは、「リアルな“出会い系”空間としてのクラブ」の存在が示された。つまり、本来の音楽や踊りを楽しむという目的以外で、クラブという空間が性的な出会いが前提で、無防備な性関係につながっている可能性が示唆された。特にそのような空間に慣れていないクラブ初心者のリスク行動も指摘された。また、クラブを頻繁に利用する大学生の間にある性関係に対する容認的な態度やリスク認知の低さや知識の不十分さが示唆された。今回は、第一段階としての質的形成調査の初期段階であるため、さらなる質的研究の継続と、それに続く量的研究を用いたミックスドメソッドにより、クラブ利用若者の実態を正確に把握し、今後の予防においては、彼らの現状を十分に理解した予防対策が開発されることが喫緊の課題であると考えられる。

11. 参考文献

1. 厚生労働省エイズ動向委員会. 平成 22 (2010) 年エイズ発生動向 - 概要 -. 2010.
2. 国立感染症研究所感染症情報センター. 感染症発生動向調査事業年報. 厚生労働省健康局結核感染症課; 2008.
3. 岸田泰子, 北村俊則. 青年期の性意識・性行動に関する研究(第1報) 大学生の性意識・性行動に関する基礎集計. *母性衛生*. 2005;46(1):170-178.
4. 半藤保, 小林正子, 久保田美雪. 大学生の性行動と性感染症についてのアンケート調査成績. *母性衛生*. 2007;48(1):21-28.
5. 木村好秀, 齋藤益子, 菅睦雄. 看護系大学生の性意識・性行動の実態とピルの使用意向に関する調査. *母性衛生*. 2007;48(1):66-73.
6. 江幡芳枝. 大学生の性に関する実態調査. *日本性科学会雑誌*. 2002;20(1):25-28.
7. 福本環, 森永康子. 男女大学生の避妊行動に関する研究 愛情を感じる相手との最も最近の性交渉において. *母性衛生*. 2005;46(1):143-153.
8. 天野陽一, 若尾良徳. 大学生女子における交際周期の実態と意識. *思春期学*. 2009;27(4):342-350.
9. 日高庸晴. MSM(Men who have Sex with Men)のHIV感染リスク行動の心理・社会的要因に関する行動疫学的研究. *日本エイズ学会誌*. 2008;10(3):175-183.
10. 木原雅子, シヤハラザード・M・ラバリ. 【小児の性感染症】 思春期の性行動と性感染症 問題の構造と展望. *小児科*. 2006;47(9):1320-1326.
11. Shrier LA, Harris SK, Sternberg M, Beardslee WR. Associations of depression, self-esteem, and substance use with sexual risk among adolescents. *Prev Med*. Sep 2001;33(3):179-189.
12. Resnick MD, Bearman PS, Blum RW, et al. Protecting adolescents from harm. Findings from the National Longitudinal Study on Adolescent Health. *JAMA*. Sep 1997;278(10):823-832.
13. DiClemente RJ, Wingood GM, Crosby RA, et al. A prospective study of psychological distress and sexual risk behavior among black adolescent females. *Pediatrics*. Nov 2001;108(5):E85.
14. Jayakody A, Sinha S, Tyler K, et al. Early sexual risk among black and minority ethnicity teenagers: a mixed methods study. *J Adolesc Health*. May 2011;48(5):499-506.
15. Liamputtong P. Research methods in Health: Foundations for evidence-based practice, 2010
16. 木原雅子・木原正博. ヘルスリサーチのための質的研究方法—その理論と方法. 三煌社; 2007.
17. Reingle J, Thombs DL, Weiler RM, Dodd VJ, O'Mara R, Pokorny SB. An exploratory study of bar and nightclub expectancies. *J Am Coll Health*. 2009 May-Jun 2009;57(6):629-637.
18. Muñoz-Laboy M, Weinstein H, Parker R. The Hip-Hop club scene: Gender, grinding and sex. *Cult Health Sex*. 2007 Nov-Dec 2007;9(6):615-628.
19. Griffin JA, Umstattd MR, Usdan SL. Alcohol use and high-risk sexual behavior among collegiate women: a review of research on alcohol myopia theory. *J Am Coll Health*. 2010 May-Jun 2010;58(6):523-532.
20. 竹原健二, 松田智大, 児玉知子, 渡會睦子. 大学生のHIV検査に対する認識と利用状況の実態. *日本エイズ学会誌*. 2008;10(3):215-220.

分析テーマ①「クラブ」という場所をどう思っているか	
カテゴリ-1【リアルな“出会い系”空間としてのクラブ】	
概念1: 知らない人に話しかけることに抵抗感のすくない場	
W1	(F:クラブは出会いの場だと感じますか)W:行って、声をかけられたりすると思いますよね。とか。あとは、クラブの中において、見てて、まあだいたい外国人の間とか、チューしてたりとか、まあ、普通ですし、日本人の人でも、べたべたするので、ぜんぜん…なんでも有りな感じだぶんクラブの中ではおこっているのかなど。
W1	W:女性専用シートっていうのがあって、女性のみがすわれるシートにそこに男性がはいってお酒をおごる。って言う風になっているんで、クラブもまあ、出会いの為に作り上げられているのもあるんで、
W1	F:そうですね。なんかみんなそれを暗黙のルールっていうか、それが普通、と分かってて来てる人しか居ないと思います。それが怖ければ来ないし、っていう。だと思います。
W1	W:人によります。やっぱ、なんか、男のかっこいい人、捕まえるために、行くのもありますし、アタシもそれにのって、かっこいい人を探すとかありますね。クラブで。ただ、どうこうしようっていうのはないんで、まったく。…とくにそこまで、女の人から行くことはないですね。くるのはやっぱ、男の人からお酒をおごるってなって、だと思います。
W3	、クラブとかで一、なんか、その夜持ち帰ってたりされちゃうっていうの、良く聞くんですけど。そういうのって、聞いたり、見たりってしたことありますか？ W:よく、はい。特に京都は良くありますねー。 F:特に京都とか？ W:そうですねー。いや、なんか、大阪もその、ぜんぜん、ちゃらいほうはいっぱいあるとおもうんですけど、京都は結構、四条とかしかかないじゃないですか、クラブとか。あんまり。だから、逆に、多いと思いますね。なんか、女の子が、軽い…結構、イメージがありますねー
W3	W:でも、ぜんぜん、なんか、お酒をつくらはるとこあるじゃないですか。で、そこらへんに、なんか、人がたまって、結構。で、それから、男の人が、声かけたりとかはある。と思いますね。
W3	たぶん、大抵、その女の子とか、引っ掛けたいとか、引っ掛けられたいとか思っているひとっていうのは、その、音楽をたのしみに来ている人ではないですよ。
W4	そういうの、結構ナンパとかされたりしますか。 W:そんなでも…はい、って言ったけど、どのくらいががおいんかわからへんし。 F:じゃあ、一回でも2回でもされたら。 W:まあ、はい。 F:どうやって、どういう感じで声かけてくるんですか？ W:えっ…「どっからきたん」って感じです。とか、「今日誰ときてるの」とか。ですかね。
G1	F:たとえば、ちょっと話し変わるんですけど。ナンパとかされたことありますか？ W1:なくはない。 W2:なくはないけど、少ないよな
G1	F:(ナンパ)される時っていうのは、どんな感じでしてくるんですか？男性のかたは。 W1:飲もー、みたいな。 2、3:あー。 3:飲んでる？とか。
概念2: クラブが出会いの場であることへの容認的態度	
W1	W:うーん、そういう子。まあでも、たぶんお互いの利害一致してるっていうか、まあ連れて行かれる時点で何かあるっていうのは、予想しているっていうか期待していると思うし、どっちもそいった一瞬の楽しみを求めているんじゃないでしょうか。
W2	男性の人でも女の子を探すためにやっているひととか、女の子でも、ナンパ待ちで行ってる子とか、そういった子をどう思いますか？ W:あ、いいと思います。クラブってそういう場所、あるべきなのは、前提やとは。思いますね。
W4	F:クラブって、結構、なんか、知らない人と出会って、持ち帰られたりって結構、個人的には聞かなくて、 W:あ、はい。 F:そういうのって、結構きいたりしますか？ W:あ、はい。 F:身近でありますか？ W:そうですね、ありますね。 F:見たりとかもしますか？全く関係ない人が、クラブ中でこの人持ち帰られてる、とか。は、良くみます。そういうのって、どう思いますか？ W:え、でも、それは、別に個人の勝手やから、別に持って帰られるのも、二人が同意してたらいいと思うし。そんな、別に止めようとは思わないです。はい F:友だちヲツいい感じだから、行ってくるわってかんじ？ W:なんか、その相手にもよるかもしれないけど、でも、あくまで、自分の勝手やし、それで何が起こっても、しゃーないっていうか。あたしが間に入ることじゃないじゃないですか。それって。だから。止めたりはしないかな。
W7	F:えーっと、じゃあ、クラブで。あの一、なんか良く聞く話は、酔っぱらったり、普通にしても、男の人が女の子の人に声掛けたりして、その日だけの関係？っていうの良くきくんですけど、そういうの実際にみたことってありますか。 W:うーん、見たことはないですけど。わたしの友達とかも、別にいないんで。 F:へー。そういう関係を、持っている人が、もし友達でいました。どう思いますか。 W:え、別に私は何とも思わない。お互いが良かったら。
W7	W:普通にしゃべりますけど。アタシは、なんか、お酒おごってもらえたらいいんで。普通におごって、って言って、良いよって言ってくれる人は、普通に喋りますけど。なんか、そこでえーみたいなん、言う人は、もうしゃべらないです。

W7	<p>W:それも、京都やったら、友達とずっと一緒にいて、なんか、DJブースの前で踊ったり、曲聞いたりするんですけど。大阪は、とりあえず、ウロウロします。 ウロウロして、お酒おごってもらえへんかなーて。</p>
G1	<p>F:そうやって、男性が純粋に音楽を楽しまずに、その女の子を引っかけひ来ている、っていうのを見る事も有るとおもうんだけど。そういうの見てて、どういう封に、感じますか？ W1:なんか、 W2:なんも別に、 W3:なんも、感じないか W2:頑張れ、とおもいます。 A:ははははははは。 W3;そこに、あやかれたらお酒おごってもらえるし、良いんちゃう、みたいな。 A:ははははははは／ W1:なんか、別に。 W2:そんな、気持ち悪ーとかはならないです。ほんま、ないわー、とかもないと思います。出会いの場やと思うし。 W1、うんうん。 F:いいですね。そうでよね、お酒おごってもらえたら嬉しいですよ。 W1:めっちゃ喉かわくから。</p>

概念3: 不特定の相手と性関係に発展しやすい場

W1	<p>W:誘われたりしたら、あたしはまあ、話したりとかはしますね。一緒にお酒のんだり。ただ、それ以上はアタシは絶対、アウトなんで、、まあ、でもなんだろう、、性に対して緩い考えもが、緩くなってきてるよねって話も最近してて、友達となんか。性嗜好っていうか。なんで、たぶん、ホント、一夜だけ飲んで、どっかホテル行って、するとか、普通に起きてます。 F:ふん</p>
W2	<p>W:多かったですね、当時は。今は、もう全然ないけど。 F:いやいやいや。そういうときってどんな感じで、話しかけてくるんですか？ W:だいたい、そのやっぱ16、7の時だったんで、いつもそこにいる男の子たちにしたら、だいが若いな、こいつら。チョツ声かけたら、ひょいっともって帰れるな、ていうそういう目線で、さそってくるから、最初は、一言目は、今でもだいたい知らない人はそうだけど、えーっと、「二人できたの?3人で来たの?」っていう、人数確認するのと、「何歳なの〜?」。その二つですね。</p>
W2	<p>(F:なかには、話を聞くと、やっぱなんか、その話かけられて、なかよくなって、そのままついていって、なんか、まあ、ラブホとか行くっていうのもあるみたいだけど、そういうのは、みたことありますか?) W:そういうのは、ありましたね。やっぱ若いときは、自分も (F:そうなんだ。) W:あったあった。たくさんとは言わないけど。 (F:あそうやんや。けっこう、まあ、たくさんでもないのか。) W:し、友達でもいるし。そのために、クラブに行ってたとかもたぶん、きつとあるとおもう。</p>
W2	<p>W:だいたい・・・でも、そういう人には、あんまり、ね、一回きりだから、あんまり聞かなかったですね。そんな、うーん。 F:ふーん。一回だけ、あったの? W:何回か会ったけど、その別に、なにがどうとか、どんな仕事してるとか、そういう深い話はしたくない。ですね、誰とも。</p>
W2	<p>持ち帰られているひと、もちかえられているカップルとか、っていると思うんですけど、それってクラブで多いっていう、みたことありますか。 W:まあ、みますよね。見るし、聞くし。</p>
W2	<p>(持ち帰られるのは、)3パターンかな。今言った、泥酔してるのと、しっかり意識があって、計画的ビッチと、あとは、まあとりあえず流されていってこかなーっていうのと。泥酔している子に手をだすのは、だいたいクラブ初心者の男の子。で、まあ計画的ビッチを持って帰るのも、そうだなー、お金持ってるけど、初心者の男の子か、まあ、慣れたる男の子か。で、その中間は、中間同士みたいな。</p>
W2	<p>W:えっとねー、男の人は、たぶん、十中八九、今晚もって帰る気できて、今回一発やれたら、成功。そこから関係が続いて、セフレにでもなれたら、大成功。あわよくば。だとおもいますよ。とりあえず。一回やれたらそれで、ってことだとおもう。</p>
W2	<p>女の子から、そういう話って聞いたことありますか。なんか、知らない人と・・・。 W:知らない人ってっていうのは、あー、あるかな。 F:どんな感じで話してくれるんですか。 W:えーっ、どうやる。女の子によるけど、おおいのは。たぶんあたしの立場もあるけど、「あたし、この間、だれだれのこと知らなかったんやけど、だれだれとやったっていうのが、なんでか知らんけど、広まっているんやけど、どうしたらいいと思う?」って言われるのが一番おおいですね。</p>
W4	<p>F:クラブって、結構、なんか、知らない人と出会うって、持ち帰られたりって結構、個人的には聞かないって、 W:あ、はい。 F:そういうのって、結構きいたりしますか? W:あ、はい。 F:身近でありますか? W:そうですね、ありますね。</p>
M2	<p>クラブで結構男女があつて、そのあと、夜過ぎず、みたいな話も聞いたことあるけど、そういうのって見たことある? M:あ、なんか、友達が。そういうのあった。まあ、何回か見たことあります。 F:ほー、結構おおい?そんな? M:結構・・(笑) F:あ、結構。そうなんや。え、結構どのクラブも? M:なんか、さっき言ってなかったんですけど、「A」って言うクラブで。 F:A?なんか、また出てきたね。調べないと。</p>
M2	<p>M:あそこはなんか、行かないんですけど、自分が出させてもらったときに、見てたら、なんか、ナンパしてもって帰ったとか。 F:そなんや。 M:みたことは、あります。 F:へー、、、そっか。え、どんな感じでもってくの? M:え、なんか、に女の子に、でーへん、みたいな。</p>

M2	<p>M:なんか、彼女の友達で。なんか、一人が持ち帰られているの見たことありますね。 F:はー、へー。おない年くらい？ M:おない歳。 F:その日だけの関係やんね。もち。。。 M:はい、たぶんその日だけだと。そうです。 F:やっぱあるんですね。 M:あると思います笑</p>
M1	<p>実際、男の子が女の子を誘ったりするの、見たことありますか？ F:結構多いですか？ S:もちろん。昨日もみたし。そりゃ、行けば、みる。 S:まあ、多いって基準はあれなんだけど、まあ見てるとね、見てると、まーまーわかるやん。あ、もう見てると、ときどき、今日は持ち帰り3カップルとか、ぜんぜん、数ええるくらい、みてればね。数えるくらいのがありますね。ちょっとたのしいし、うわーみたいなの。笑 うわー、こいつもかー、みたいな。うーん F:結構多いですかね。 S:お、多いっていうかね、多い少ないって言うと、まあ、良く有る、良くみれば、まあ毎回？毎回見ればある。 F:まあ普通のはなし？ S:うん、ふつうー。 普通に、毎晩、、、一人か三人か、四人で来て、で、一緒にいた人じゃなく、そこで知り合っって人と、帰る人が、必ずって言うくらい、います。</p>
M3	<p>f:そういう話って、実際に聞いたことありますか。 m:えー、結構ありすぎて、わかんないなー。 f:結構、成功するもんなんですか m:そりゃ、下手したら、ここでいうのもなんですけど、1:1の行動ではなくて、グループで見たいな、こともありますからね。あるところでは。 f:へーグループで、女の子も何人か連れて、男の子も何人か連れて、？ M:もう最後の行動まで、そんな感じだったとか。もありますよ。 f:へー。そういうの結構聞いたことありますか？それとも、レアですか？ m:いやー、まあまあ、あるし。そうかな、って思って最後まで聞かない。とかっていうのがありますけど。うーん、日常的に起こるかっていうとそうなんですけど、少ないかというともうでもない気がします。 f:へー</p>
概念4: クラブイベントの内容による“出会い系”空間としての重みの差	
W3	<p>W: やっぱ、そんな、めっちゃその、だれでも聞けるような音楽が流れているようなところだったらー、誰でも行きやすいやろうから、引っ掛けやすい確率が高くなることもあるやろうし。声かけやすくなるやろうし。うん。だと思えます。あと、イベントの内容とか。</p>
W5	<p>で、うちが、一回生の時に行ったような、オールジャンルとか、誰でも楽しめるよね、みたいなので、出会いの場を提供しているようなイメージ。たぶん、あんまりクラブ行かない人、が持っているようなイメージの場所だと思う。</p>
G1	<p>F: たとえば、どういった感じのイベントが、そういうのが多くて、どういった感じのイベントが、そういうこと が少ない？ナンパとか、そういうことが少ないとか、っていうのは、ありますか。 W3: あれちゃう、女の子がタダやから、</p>
概念5: 音楽関係者や有名人との出会いへの期待	
W1	<p>ずっと憧れてた人に誘われたら行っちゃうとか。クラブとかであればそんなかんじですね。DJの人に呼ばれて、どっか行って、しちゃうとかあるみたいですね。F: あ、DJの人も結構あるんですか。 W: 遊ぶ人は、遊ぶみたいです。あと、スタッフの人も遊ぶひとはやっぱ遊ぶみたいです。</p>
W2	<p>その真ん中の子をねらってる関係者、業界の間はいっぱいいて、その例は沢山あります。</p>
M3	<p>ぼくなんかは、割と、その聞きに来る大学生のお客さん、っていう、ところの時代のあとに。ぼくがイベントをやったりしたから。そのアーティストの人と、を、アテンドして、イベント終わった後に、とか、最中に、よそでご飯食べて、で、とか観光して、って中で、そのDJが着てて、自分の時間、パーティとかを盛り上げて、VIPルームに戻りました。そしたら、なんか、かわいい子いないのって話になると。で、お気に入りの子いたんじゃないですか、って感じで、その子たち連れてきたりもしちゃう、と、で、アーティストが、そういう知名度の高いアーティストであるとしたら、余計に、その日のうちにそういう流れになってしまうことは、まあまああります。最後まではついて行かないですけどね。</p>
W2	<p>なんか、大学生の男の子が女の子を誘うことって、あるかな W: すくないと思います。 F: やっぱ、社会人とか？ W: が、多い。お金がないと、やっぱり、その日に止まるホテルも。まあ、普通の大学生は無理やから。</p>

	<p>“W: 経験がない分。で、大学生・・・は、大学生でも、そうだな、その、うーん。場所とかにもよる。私、ラプトライブっていうクラブで一年半くらいバイトしてたんですけど、ずっと。その時に見てたら、しっかりとしたコンセプトのあるイベントでは、やっぱり、すくないけど、あまりコンセプトのなくて、たとえば、学生イベントとかだったら、あ、学生イベントで、学生だけ来るイベントではすくない。かな。 F: ふーん W: ナンパはすごく多いけど、実際そこから、もって帰る、って言われたら、なくて。そこで連絡先聞いて、後日連絡するのがすごく多くなって。 F: ほー W: で、平日の水曜日に、ワールドとかに行くと、社会人2、3、年目なんやろうな、っていう感じの若いサラリーマンが、学生なんやろうーな、大学生の女の子たち、ナンパして、一緒に出て行ったりっていうのは、あるし。 うーん、そういう意味では、狙われる、って言ったら悪いけど、でも、あるとは思いますがよ。大学生かっていうのは。”</p>
W2	
概念6: 無防備な性関係に発展しやすいクラブ初心者	
G1	W1: なんか、友達とかで、あんまり慣れてない、クラブ慣れてないな一って子がつれてかれそうになった時は、めっちゃしんぱい。
W5	簡単に言うと、初期は、まあなんか声をかけられたり、することが、、、、なんか、声をかけられるってステイタス感じる、みたいな。
	<p>そうやって、はなしかけられた時に、どんな気持ちになりますか？ W: えっとー。 F: 今でも、今話しかけられた状況も聞きたいし、もちろん若かった時の、を覚えていたきたい。 W: 若かった時は、あ、来たきたっていう、ちょっとわくわく感半分、でも、なんか、そのあと、めんどくさいことになったら、いやだから、ちょっと、あんまり、壁つくところかなーみたいな、半分。で、友だちというから、安心して、フツーにわいわい出来る。その後、一緒に、ね、グループでのみに行ったりとかも、してたし、知り合いどうして。 F: クラブであった人と？ W: そういうのもありつつ。 だから、8割楽しんでたんじゃないかなー、その時は。で、今は、まず、たぶんその一人にいるから、どこのクラブでも、一人にいるから、話かけられるときは、一人で、いるのって、絶対一言目に言われるし。で、一人でいる。じゃ、何しているのーみたいな。ふつーに遊んでるけど、みたいな。ナンパとかもうめんどくさいから、やっぱ、100%で、もうめんどくさいけど、、けど、まあ、なんかおごってもらえるんなら、おごってもらおおかな、ぐらいの感じですね。今は。</p>
W2	W: 昔は、分かりやすくすると、レーベルに入る前は、うーん。でもやっぱり、そういう遊び方をしたから、ナンパされる楽しさと好きな音楽をクラブで聴いてるっていうの。ね、あんまり、立宇治も、そんなあんまめっちゃやんちゃな高校とかじゃなかったから、周りにクラブにいてる子はいなかったけど、あの子はいてるらしいよっていう優越感とか、あと一は一、なにかな、あ、ねー、夜遊びしてるわくわく感？ですね。
M3	大学生のときは、男だけ行って、誰かと仲良くなって帰って来ようぜ、みたいな。そういうのもありましたね。イベントとかをやってたんで、そういうのの営業活動的な感じで。その場でどうこう言うのはなかったですけど、まあ、自分たちのイベントに来てもらって。今度のみ行きましょう、っていうのはありましたね。
カテゴリー2【“出会い”以外のクラブ利用】	
概念7 純粋に音楽を楽しむ場としてのクラブ	
W3	W: 行ったら、えっとー、ショーとか、ダンスのショーがある場合には、なんか、そのショーを見たり。そのショーに出てた友達としゃべったりして、なんか、わたし行ったら絶対おどるみたいな考えじゃなくて。なんか、まあ、そこで久々に会う人と、しゃべれたりできたらいいかなーみたいな。で、いい音楽がかかってたら踊ればいいかな、みたいな。そういう感じやから。なんか、その時によるんですけど、ほんまに。めっちゃ、踊ってる時もあるし、みんなで。一人で踊ってる時もあるし、みんなで踊ってる時もあるし、しゃべってる時もあるし、みたいな。
W3	<p>W: あ、それもあるし。なんか、ダンサーって、基本、クラブがたまり場・・・たまり場・・・っていうか、クラブが唯一一緒に集まる場所みたいな。まあ、ご飯とか・・・ なんか、プロのダンサーっていっぱいいるじゃないですかー。でも、そのジャンルの、全然面識ないのに、一緒に行かない。普通の人でもないやろし。でも、クラブで会って、その人と、にとったら、そこでダンサー同士も仲良くなれる、みたいな。なんか、そういうな、..、そういう場所として、なんか、活用している部分もあるんですよ。で、なんか、その人の踊りみて、あ、良かったでー、みたいな。 F: うん。 W: で、後になって、ツイッターとかミクシーとかで、連絡取り合って仲良くなるっていうパターンも、全然あるそし・・・</p>
W3	<p>F: こういう空間だったら、そんなにめったに、話しかけられなくてもー、 W: そうそうそう、 F: 打ち解けられる、、それがいい方に働いている方もあれば、 W: 悪いほうに・・・ F: 他の目的に・・・</p>
W2	大学入ってからは、そう、今が、まあ知っているみんなに会う楽しみと、新しい、もう行ったら音を見るので、まあ、完全に。音とか、お客さんの状況とか見て、こういうDJもいるんや、こういうつなぎかたあるんや、この曲なんやろ、とか。それを楽しみに行ってますね。人に会うのと音楽と。だから、変っていったかな。

W4	<p>“W:いや、クラブで知合ったりとか。 F:へ——、 F:クラブ、楽しいですか？ W:楽しいですね。 F:どうい、何が楽しいって思いますか W:まず、自分の好きな音楽がかかっているから、なんかテンションも上がるし。人としゃべるから、人としゃべるのが楽しい。そういうのが楽しいかな。 F:踊ったりもします？ W:あ。しますます。そのほうが長いとおもいます。時間的には。 F:へーそっか。具体的にどんな話してらんですか？ W:え、どこから、来たん、とか。 F* ふーん W:本間に取りとめのない。。基本的な会話。みたいな。 F:あー、それは、いろんな人と話して、いろんなことを経験したりするから、たのしいって感じるってこと。 W:え？ F:その知らない人と話したのしさっていうのは。__ W:なんか、例えば、あたしは大学生だけど、向こうは社会人で、で、全然その人の知らん世界を、、向こうは、うちの世界をしらんくて、その人、私はその人の世界を知らないじゃないですか。だから、そこで、知らん世界をして、話盛り上がったったりしたら、新しい世界を知れるし、あ、こういう感じ何や。みたいな。まあ、わからないですけど。”</p>
W5	<p>W:声かけて、かけられて。でも、なんか、ある程度、ジャンルがしっかりしてて、ってなると、その曲のことが好きな人が集まるから、出会いっていうより、なんか、曲に…。だから、チャラさも減りますね。仲良くなるけど。なり方だけが… F:ただの出会いじゃない。 W:そうそう。友達なるとか。 F:実際、友達とかになりますか？ W:なります、なります。 F:ふーん W:だいたい皆、友達にはなるんですけど、その後とか違うじゃないですか。</p>
W5	<p>W:うーん、なんか、もつと、曲とかが好きで仲良くなった人は、そういう共通の趣味を持ってて、共通の目的があって行ってるから、長くつづくんですけど。ただ、チャラいだけで、出会い目的にしてると出会っても、それが目的だから、そこから、別に、あんまり発展しないっていうか。好きだったら別ですよ、フィーリングがあって。</p>
W5	<p>、いつも普段自分が、あの、なんにもなかったら声かけたり、出会わない人と、出会えて、しかも声をかける理由がある。っていう楽しさ。 あ、理由はないけど、声をかけていってっていう楽しさ？ですかね。 曲の調子の話題もそうだし、楽しそうな人がいたら、自分も楽しいから、ちょっと、声かけて、一緒に盛り上がりたくなったり、とか。だから、あの場に、クラブっていう場に、どんだけ、イケメンがいっぱいいても、音がなかったら、駄目な訳ですよ。目的がないから、元々の。</p>
W5	<p>W:うーん。色んな意見とか、自分のコミュニティーにないものを持っている人に刺激を受ける、っていうのと。例えば、いつも行ってるメンバーだったら、5人じゃないですか。落ち着くし、自分のこと分かってるし、あのメンバーでいたら面白いの間違えないんですけど。新たな刺激っていうか、刺激みたいなを、自分に与えようと思ったら、このコミュニティーだけじゃ、駄目、ダメじゃないですか。</p>
W5	<p>全然今まで知り得なかった関係が気づけたりとか。恋人とか友達とかじゃなくても、なんか、あつたら楽しいな、っていう。自分の友達と友達っていうだけでも和が広がるし。我が広がる楽しさを知りました。</p>
W7	<p>クラブか。クラブ、どんなところが楽しいな、って思いますか。 W:あたし、音楽好きなんです。</p>
W3	<p>W:たのしいですね。特に、自分の好きな音楽とかかかっている…。かかかって、それを聞きに行くときが一番たのしいです。</p>
G1	<p>W1:あと、なんか、結構、知合いとかもいっぱいいたりして。行ったら会えたりする。一回生の時とか、ジョンさんが結構、ワールドの、フロントにいたから、ジョンさんに会えるし行こー、みたいな。</p>
G1	<p>W2:たぶん、すごい楽しんでるから、すごい大人の人達がかまってくれるっていうか。 F:ふーん。かまってくれるっていうのは、どういう事ですか？ W3:飲むー？とか、 F:あー、 W3:かわいがってくれる。 W1:しかも、何回も会うから。 F:ふーん。他の人から話しかけてくれるって感じなんですか？ どういう感じですか？ W2:話しかけられもしますし、話しかけもしますし。みたいな。</p>
G1	<p>W1:すごいイベントとかで良く見る人とかだったら、自分から、行って、知合いの知合いだった、とか。関わり初めたりして。普通にクラブじゃなくても、なんか、普通に、ナベパしようとか、そういうのもあったりとか。</p>
G1	<p>W2:クラブいくから、そういう、全然違う仕事とかしてて、絶対普段だったら、友達とかには、なれへんやろうな、っていう人でも、一緒に音楽好きっていう、のから、仲良くさせてもらったり、とか。</p>
<p>概念8 気分転換できる場所としてのクラブ</p>	
	<p>W:むちゃくちゃ騒ぎたいときとかです。あの、普通にまあ、ストレス発散になるんですよ。正直、お酒のんで、あんなだけ爆音聞いて踊れば。あとは、まあ、夜なんかしよって、なったときにゆっくりこう話ながら、お酒のんで、ご飯食べる気分じゃない、くて、まあ遊びたいな一つてなったら、やっぱり、クラブ行きますね。</p>
W3	<p>ストレスたまってるから、行きたい！って人もいますよ、全然。はい。 F:へー W:それで、友だちと行くときもあるし、はい。</p>
<p>概念9 出合いを目的に利用へされることへの不快感</p>	

W1	W: 一般的にみてってどうか、私と友達の会話なんですけど。それも。結構私は、出会い求めてる、でクラブ来る人が苦手というか。
W1	W: まあでも、だいたい。そういうのが、一般的な考え何でしょうね、クラブに対するみんなのイメージ。ってどうか。だから、クラブって結構悪い方の言い方で言われるじゃないですか。
W1	W: それ(出会いとか遊び)を結構、クラブに行く友達とか、DJしてる子とかみんなそういうの言うんですよね。音楽楽しんでる子はたのしんでるだけだし。私とかは、そういう子たちを見ると、結構一歩引いて見てて、クラブで。なんか、カオス的な状況ってやっぱり、見ててなんかここにいるんだろってたまに思いますもん。クラブ行ってて。
W3	W: え、なんか、うーん。なんやろ。ちょっと、、なんか、ちゃうかなー。そこだけで会おうんやったら、あたしはちょっといやかなー。うーん。
W5	W: いや、なんだろ・・・、クラブで会おうってどうか、人とであったり、すごい好きなんですけど、その先に、性的なもの、求めてないって言うか。でも、それって、女の子で、そういう子多いと思うんですけど、男って違うじゃないですか。だから、そういうの求めてそうだなって、思ったら、一歩引く感じ。
W5	W: あの一、なんか一、めんどくさい。めんどくさいって思っちゃう。
M2	F: まあ、つれてかれるか。。。ほーそういうの見てどう思う？ M: えークラブはそういうのする場所じゃないやろって
W6	W: そういうクラブじゃないんやで、って感じです。こっちからしたら。 F: どっちかっていうと、クラブでそういうこと、やめて欲しいって思う？ W: そういう場所じゃないんじゃないかなーと思います。

分析テーマ② 性行動・予防行動・受診行動

カテゴリー 【交際関係のない相手との性関係の存在】

概念10 不特定多数の相手との性関係

W2	<p>セフレとか、セフレって、どう思いますか？ W: ありだと思います。 F: ふーん、周りに結構、いますか。自分のことじゃなくていいけど。 W: 私の今のだんなさんも、最初そうだったし。ってか、周りでも、いますよね。遊んでる子とかは。いいとおもう。</p>
W3	<p>W: なんか、その子は、ナンパされて、ナンパされた人ともやって、ナンパされた人のその友だちともやって、みたいなの。かんじで F: へーすごい。 W: そう、めっちゃ聞いてびっくりしたんですけど。えっみたいなの。なんか、普通に立命にいる子なんですけど。で、なんか、その彼氏とかもいなくて。ちゃう…最近付き合ってたけど、わかれて。その、別れた理由が、そういう人、多いから、みたいなの。セフレが多いから、ていう。 F: え、付き合ってたときもそういうのあったってこと。 W: え、どうなんやろ。でも、そういうのが原因で別れたってことは、そういうこと、 F: だろうね。 W: でも、その子は、高3くらいからやってた、つみたいなの。。繰り返して。 F: へー W: え、まじで一みたいなの。で、ちょっとびっくりしちゃって。 F: え、そのびっくりしたっていうのは、そんな子に見えないって感じですか？ W: あ、はい。そうそうそう。 F: あ、そうなんだー。ふつうの感じの？ W: それは、びっくりしたし、なんかこんな身近にいたんやー、みたいなの。 F: へー、</p>
W7	<p>あ、あの一、男の子、友達とかで、男の子、多いですか。 その人たちの性関係とかって、結構把握してる、把握してるっておかしいな。聞いた事ありますか？ W: ありますあります。 F: どんな感じですか？結構ちゃんとしてるひとが多いのか、結構ルーズな人が多いとか、印象はありますか。 W: いろんな女の子とやってる子は、いますね。 F: どんな感じですか？ W: 別にわたし…どんな感じってどういうことですか？ F: えっとー、毎回毎回彼女が違うとか、すぐ変わるとか。 W: 別に彼女って言ってないです。 F: あー。どういうとこで、引っ掛けてくるんですか？ W: それは、わからないですけど。うーん。その子夜の仕事とかしてたんで。そういうののお客さんとか。だとおもいます。</p>
M1	<p>S: で、あの、ま、とある、あの、有名人と、あのセックスした夜に、その子の友達も、同じ方とした。で、その2人が〇〇姉妹って今、呼ばれている。あの、どういった、あの、まあ、どういった有名人と関わったかは、言わへんけど、、〇〇兄弟っていう以上、絶対、〇〇ね。まあまあ F: 〇〇さんは、芸能人？ S: まあそうですね。で、あ、あの、その〇〇姉妹は、今も見る度、笑ってまうんよ。「同じ夜かいな」みたいなの。へーみたいなの。それ、今私が、っていう、のもう1人がわかるのに。なんか、大丈夫？いかれんの？ えいえいえええ？！みたいなの。なんか、すごいな一って思った。なんか。</p>
G1	<p>F: ふーん。聞いたことありますか。 W2: 聞いた事… W1: そんな公に。 W: あんまり、そんなに。 W: ほんまに、数人。</p>

概念11 大学生になってからの性行動の活発化

W1	<p>W: います います。全然すきじゃなくてもできる子は、ほんとにいますよ。沢山。</p>
M2	<p>あと、もう一つききたいんですが、その、つきあって、セックスまでの期間で、だいたい、みんなどれくらいだとおもいますか？ M: 大学生になってからは、たぶん、急激に早くなった… F: はー。 M: それこそ、もう一週間とか？付き合う前とか。あると思います。</p>
M2	<p>F: あと、結構、セフレとか、そういう言葉はあるんだけど、周りで聞いたことある？あ、ありますか？結構ある？ M: けっこう、聞いたことあります。 F: そうなんや。周りで？ M: はい。まわりで F: 結構近いとみだちとか？…は、そんなにいない？ M: 昔仲良かった子、高校ん時とか、そういう子がいました。 F: そうなんや。え、どういう関係なん？ M: なんか、もともと付き合ってたで別れた、けれど、体だけは続いているとか。 F: へー。 M: あとは、ほかに彼女がいて、浮気みたいな感じとか。</p>

概念12 大学以前からの性風俗の利用(男子)

M2	<p>M:なんか、その子はそういうお店に通っている子やって、 F:へー M:そこでうつされたかもしれないって、 F:「そういうお店」っていうのは、なんていうの、、、そういうお店っていうのはどういうお店ですか？ M: あ、風俗・・ F: 同い年?? M: 同い年で F: え、そういう話聞いて、どう思った？ M: え、なんでそんなことにお金つかうんやろ一笑笑 F: そういう子って結構いますか、周りに。 M: えー、たぶん結構いると思いますね。運動部とか入っている子は。先輩とかに連れて行ってもらったり。 F: あ、そうなんや。 M: 高校の頃から、知っている子とかもいました。</p>
M2	<p>M: 外国行って行ったりしている子もいましたよ。 F: あ。そうなんや。・・・え、たとえばどんな国に？ M: ...フィリピン？、 F: フィリピン？！ M: なんか、東南、、、アジア。シンガポールかフィリピンか、どっちか。 F: え、それは、留学いってたときに、行ってたってこと？わざわざ、 M: いや、旅行ついで、みたいな。 F: ほうっ！え——。そういう子って彼女とかいるの？ M: いや、いないとおもいます。(27:22) F: あ、いないね。 M: あ、いる子もいます。 F: え、いても行くのか、それとも、いないときに、穴埋め的な感じでいくんか。 M: え、行って、隠してたとか聞いたことがありますね。 F: あそうなんや。</p>
概念13 カジュアルな性関係に対する容認的態度	
	<p>F: そういうのは、どうおもいますか？ W: まあまあ責任もてるんやったら、いいと思う。</p>
W2	<p>セフレとか、セフレって、どう思いますか？ W: ありだと思います。 F: ふーん、周りに結構、いますか。自分のことじゃなくていいけど。 W: 私の今の旦那さんも、最初そうだったし。ってか、周りでも、いますよね。遊んでる子とかは、いいとおもう。</p>
W2	<p>W: まーやっぱり、一般的・・・、クラブ慣れているクラブーとか、の中では、言ったら、まあ、マナー違反、ちやう、ルール違反だけど、マナーを守ってたらいいんじゃないの。っていう人が大半だとおもうんですけど。やっぱ、大学生とかは、セフレ、はな一っていう子は大半だと思いますよ。</p>
W4	<p>セフレとかどう思いますか？聞いたことありますか？ W: まあべつに、それも本人が同意してたらいいとおもいます。</p>
W5	<p>自分のことは、自分で守れて思うんで、それで、別にしてしまったからって、何で、そんなんしたん、とかは思わないですね。 F: うん W: その子がいいと思ってたなら、いい。</p>
W5	<p>セフレとかってあると思うんですけど、 W: はいはい。 F: どうおもいますか？ W: それも別に、本人が、欲しいならいいじゃんって思います。まあ、それでまあ性病とかになったら、自分の責任やんて、なるだけやし。</p>
W7	<p>セフレとかを持つてる人がいます。そういう人をどう思いますか？ W: それもどうも思わないです。両方が良かったら、別に。</p>
W7	<p>W: 別に、なんか、あたしは、そういうことに対して、あかんで、とか引いたりとかしないんで。聞いても、へー、みたいな。そういう人がいても良いんちゃう？みたいな。お互いが良かったらいいし。で、そういうなんで、病気うつったりとか、そういうのだけが気つけやって、言ってるんで。アタシには結構言ってくるんですけど。ふつうに。でも、他の女の子には言っていないですね。 F: へー。どういう風に言ってくるんですか？ W: 普通です。ほんまに、普通に、その男同士に話そみたいに、昨日な、今言うてた女としてな一、みたいな感じで。</p>
G1	<p>F: じゃ、また、ちょっと、トピックを変えたいとおもいます。えーっと、性行為とか、性関係について聞きたいんですけど。例えば、クラブで、とか、誰かが、その一夜限り、持って帰って、関係を持って、っていうことがたまに起きてるっていうのを聞いたことがあるんですけど。そういうのを聞いたら、どういう感情を持ちますか？ W3: でも、お互いがいいんやったらいい W2: うんうん。</p>

G1	<p>F:いや、良いとおもいます。あと、セフレとかってどうお思いますか。 W1:それもなんか、お互いよかったら、いいのかな、っていう Ws:いいと思います。</p>
カテゴリー4【エイズ・性感染症の不完全予防行動】	
概念14 避妊のみを目的としたコンドーム使用	
W2	<p>W:うーん、えーいやー、使ってる人は使ってると思いますけど、意識が薄いひとは意識が薄いと思う。すごく。 F:ふーん。意識の薄さっていうのは、どこで感じますか？ W:自分の経験で。 F:男性の態度から？買おうとしなかったりとか？ W:そうですね。 F:ともよさん自身はコンドーム使用についてはどうおもいますか？ W:は一、ビール飲んでた時もあったし、うーん、のんでない時は、使いますね。まあ、そういう意識してだけけど。</p>
W7	<p>F:じゃあ、ちょっと、コンドームの事についてお聞きしたいんですけど、コンドームの使用っていうか、使うことに対して、どうお思いますか？ W:普通に当たり前と思います。 F:それは、目的はなんですか？ W:目的は避妊することやおもうんで。 F:病気の予防って意識はあんまりないですか？ W:病気の予防…そっか。それはあんまり考えたことなかったです。</p>
概念15 コンドームの利用の不徹底さ	
W7	<p>F:抵抗とかありましたか？ふつうに買いました？ W:いや、全然わたしはふつうに買います。 F:なるほど。周りもそうだと思いますか？ W:私のまわりは、結構普通だと思います。</p>
G1	<p>F:最後にききたいんですけど、みんなコンドームを使うっていう意識は、どう…。有ると思いますか？ひくいと思いますか？ … W1:え、あるんちゃう？ W2:え、ある… W2:自分はめっちゃあるし、あるよなー。 W3:ない子はないですね。 F:それは、男の子の話ですか、女の子の話ですか。 W:男の子も女の子も。つけない子はつけません。 W2:男の子は、結構、そういやって、自分が言われて、女の子が身ごもっちゃったとか、何かしら過去がないと、自分から頑張って、つけようとは、してくれないな、っておもう。っていう話を前してた。だから、女の子がしっかり言わないと、だめなんやろうなと。 F:ふーん、そういう人多いですか？ W:男の人多い。 W:男の子は、女の子が言わなかったら、あんまり。 W:あっちゃからは…</p>
M2	<p>じゃあ、クラブに限らずに、性行為とかセックスしてる子、周りでね、コンドームの使用ってしていると思いますか？…みんな。 M:ドワンカ…イデモンナ…まあ、でもその意識低い人は何人か、聞いたことある。 F:あ、そうなんや。その意識が低いってことは、…、どういうことですか？ M:着けずにしようとする人とか… F:へー M:で、なんか、一回聞いた話は、なんか、女の子側がそんな、知識がない子やって、そういう、性にかんする。 F:うん M:で、男の人が、 なんか、その女の子は、どうやったら妊娠するかも知らない子やって、www F:おおおお M:で、彼氏とつきあって、まあ、そういう関係になったときに、ずっと彼氏がつけずにやってみたいいな。ってキイテ F:へー…あ、そうなんや。妊娠しなかつや M:つたですね。 F:ふーん…そういう子ってそんなにいる？ M:まあ男側は、聞いたことある。着けずに…</p>
M2	<p>F:あ、そうなんや。ふーん。妊娠事件とか聞いたことある？ M:あ、ありますね。 F:そうなんにや。 M:高校生のころに、なんか、 F:へー、で、それでどうなったんですか？ M:結局想像妊娠だったんですけど、</p>

M2	<p>じゃあ、クラブに限らずに、性行為とかセックスしてる子、周りね、コンドームの使用ってしていると思いますか？・・・みんな。</p> <p>M:ドウンカ・・・イデモンナ・・・まあ、でもその意識低い人は何人か、聞いたことある。</p> <p>F:あ、そうなんや。その意識が低いつてことは、、、どういことですか？</p> <p>M:着けずしよとす人とか・・・</p> <p>F:へー</p>
M1	<p>あのなんか、いっしょに働いてた先輩の方が、あの一抱いてたおねいさんの、友達が、あの、来て、で、ま、あの外人さんと仲良くなって、あの、そのまま、帰ったんです。で、まあ僕さっき言った、まさに、避妊せずに、きやつ！っていう話なんだけど。あの一、ちょっと、僕からしたら、パンチきいているけど、知らん外人さんと、まあ仲良くなって、もうそんな、中にだされてもうバイバイっていう、なんか、こう、それ、ヤバない？？！・・・やばない？？！っていう、どんな教育受けてんねん、っていう。</p>
<p>カテゴリ-5【エイズ・性感染症検査への消極的態度】</p>	
<p>概念16 検査に行ったことがない</p>	
W2	<p>検査なんだけど、検査にいったことはある？</p> <p>W:ないですね。</p> <p>F:どこで検査うける？</p> <p>W:産婦人科。</p> <p>F:京都市だったら、タダで検査が受けられるんですが、それって知ってますか？</p> <p>W:いや、知らなかったです。学校のとかは、聞いたことある気がするけど。</p> <p>F:学校で受けられるかは、よくわからないんですけど。</p>
M1	<p>F:日本人でその意識低いとおもいます？</p> <p>S:うーん、どうなんだろう。まあ一、ちゅうか、あのをその検査しないことが、あかん。とおもいます。自分のアメリカ人とかフランス人とかの友達は、もっと普通に、そやな行こうつていえる。日本人だと、「え、え、え、え、なんで、そんな。」みたいな、ことが多いですね。</p>
<p>概念17 検査に対する恐怖心</p>	
G1	<p>W1:なんか、待ってる間に、なんか、姉がいて、姉からきいたんですけど。検査、結果待ってる間に、自分エイズかも、って、超鬱になっちゃって</p> <p>Ws:あー</p> <p>W1:そういつた。そういうひとのブログがあつたらしくて。</p> <p>F:ははは</p> <p>W1:怖いよね、なんか。</p> <p>W2:怖いわー。受けに行くには、勇気いるな。</p> <p>F:一人では行き難いつて感じますか？</p> <p>W3:絶対行けないです。</p> <p>W1:怖い怖い。</p>
M1	<p>あ、上手いこと言われへんけど、基本的に、あ、その、うーん、恥ずかしいから、あの一、たとえばね、自分が性病にかかっているかどうか、わからへん、でも調べるのが、こわいからやらない。って謝った、間違っている考えをなおさなあかん。</p> <p>「そんな、かかたら怖いから、そんなん行かへん行かへん、」て、ええーええー、って、みたいな。おれからしたら。ほんまにあり得へんへんけど。でも、それそのふたつをかえな、あかんなど。ほんまに、もっと、性教育せな、</p>
M1	<p>S:うーん、なんていえばいいんですかね。あんまり、自分のリスクがわかっているけど、行くのがこわい。自分なつたら、どないしよう。</p> <p>でも、知るべきよね。だって、それ、ほかの人の人生にかかわる。ね。くらの大きな、あれかもしれないし。なのに、もう怖いし、いかん、って、えー。</p>
<p>概念18 検査に関する情報不足</p>	
W3	<p>F:あ、あと一、ちなみに、えーつとHIV感染とか、性感染症の感染とかしてるとおもつたらどこ行つたらいいかとかってわかる？知ってますか？</p> <p>W:えー、わかんないです。どこいつたらわかるんですか？</p> <p>F:保健所いつたら、</p> <p>W:あー</p> <p>F:検査してくれる。</p> <p>W:なんか、CMとかやりましたよね？</p> <p>F:あーうん、。やってますね。</p>
W3	<p>W:はい、そんな感じですねー。なんか、婦人科は初めて聞きました。あんか、避妊とか中絶やつたら、婦人科ってイメージ、あつたんですけど。そんな感じです。</p>
W5	<p>F:ちなみに、検査とかつてどこで受けられるかしてってますか？</p> <p>W:クリニック？・・・なんだろう、クリニックとかですかね？産婦人科のクリニック？</p> <p>F:あーあー、病院？そうですね。保健所でタダで受けられるっていうのは？</p> <p>W:しらないです。</p> <p>F:一応、無料で。</p> <p>W:へー</p> <p>F:エイズ検査が受けられます。</p>